

の左右に切り込みを入れたもの。

009型式

長方形の材の一端を羽子板の柄状にしているが、他端は折損・腐蝕などによって原形の失われたもの。

051型式

長方形の材の一端を尖らせたもの。

003型式

長方形の材の一端を尖らせているが、他端は折損あるいは腐蝕して不明のもの。

002型式

用途の明瞭な木製品に墨書のあるもの。

005型式

用途未詳の木製品に墨書のあるもの。

003型式

折損、腐蝕その他によって原形の判明しないもの。

001型式

削屑。

なお、中世・近世の木簡については、以上の型式番号に適合しないものが多いので、註記を省略する場合がある。

一、この凡例は木簡出土事例報告に関するものであり、論文などにおいては、必ずしもこれを用いるものではない。

一、英文目次は天理大学のW・エドワーズ氏にお願いした。

木簡学会役員（二〇〇七・二〇〇八年度）

会長		副会長		委員		監事		評議員	
栄原永遠男	田辺 征夫	館野 和己	榊木 謙周	鐘江 宏之	佐竹 昭	今泉 隆雄	西山 良平	石上 英一	岡村 道雄
鷺森 浩幸	坂上 康俊	鶴見 泰寿	土橋 誠	鈴木 景二	角谷 常子	吉川 真司	渡辺 晃宏	狩野 久	小谷 博泰
馬場 基	山中 章	山本 崇	吉川 聡	山本 崇	古尾谷知浩	今泉 隆雄	西山 良平	佐藤 宗諄	清水 みき
和田 萃	李 成市	平川 南	東野 治之	和田 萃	山 敏史	平川 南	山 敏史	和田 萃	山 敏史